

中期行動計画 2012-2016

～信頼される「地域総合経済団体」を目指して～

(案)

2012年3月

八王子商工会議所 政策委員会

目次

中期行動計画策定にあたって	1
「あるべき姿」に向けてのテーマと課題	2
SWOT 分析	3
地域力向上・地域活性化プロジェクト	
中心市街地活性化推進計画	4
都市文化伝承計画推進	5
観光立市計画推進	6
地産・地消・地活の推進	7
環境問題意識の醸成	8
安全・安心のまちづくり	9
企業力向上支援強化プロジェクト	
創業支援	10
企業力強化支援	11
異業種交流ネットワークの促進	12
IT化支援	13
企業に役立つ講習会開催	14
基盤強化プロジェクト	
財政基盤強化	15
組織再編の見直しと既存事業の再編・移管	16
企業情報発信と広聴・広報活動の充実	17
地区制度強化推進	18
中期行動計画討議資料（図）	19
あとがき	20

中期行動計画策定にあたって

1878年（明治11年）、商工業者の世論を集約し、その声を国の政策等に反映させるため、民間事業者による自主的な経済団体として、商法会議所が設立されました。

八王子商工会議所は、1894年（明治27年）に、全国で41番目（関東では6番目）に設立され、2014年（平成26年）には120周年を迎えます。

申し上げるまでもなく、商工会議所は、地域における「地域総合経済団体」としての存在意義と果たすべき役割があります。これを絶えず見直し、時代に沿った理念と行動により、中小企業の発展と地域の活性化に寄与することが求められています。また、業務の効率化、職員の能力開発等により、会員サービスのための新たな事業展開を実施し、会員増強活動を進めるとともに、現実に即した活動を通じて、商工会議所、会員企業、行政、市民とともに、地域の活性化と中小企業の発展に向けた取り組みが必要であると考えております。

八王子商工会議所では、4年間にわたって、職員が全会員企業を訪問し、会員のご要望、ご意見を拝聴して参りました。さらに、市内を8地区に分け、各地区の会員の親睦・交流を図りながら、各地区に即した事業を実施しています。

これらの声を参考にし、市勢の現状も含め、政策委員会、若手議員、若手職員のグループからの提言を取り入れ、

ここにその活動の規範を

『信頼される「地域総合経済団体」を目指して』とし、

地域力を上げ、企業力を伸ばすために「地域の活性化と企業に役立つサービス」を主体とした改革へのチャレンジ「八王子商工会議所中期行動計画」を策定しました。

八王子商工会議所の「あるべき姿」を次の2つの柱として掲げます。

1. 「地域力向上」に貢献する政策提言団体

2. 「企業力向上」に貢献する地域総合経済団体

この目標を達成するために具体的な行動計画をたて、地域の特性や資源、財産などを活かしながら、新たな行動を起していきます。

最後に、この中期行動計画作成にあたりご尽力頂きました政策委員会の皆様に心より御礼申し上げます。

2012年3月
八王子商工会議所
会頭 田辺隆一郎

「あるべき姿」に向けてのテーマと課題

「あるべき姿」実現のために、3つのプロジェクトに分けて、新たな行動への課題と行動計画を設定する。

1. 地域力向上・地域活性化プロジェクト

～まちづくりビジョンの構築と発信～

- ・ 中心市街地活性化推進
- ・ 都市文化伝承計画推進
- ・ 観光立市計画推進
- ・ 「地産・地消・地活」の具体的推進
- ・ 環境問題意識の醸成
- ・ 安全、安心のまちづくり

2. 企業力向上支援強化プロジェクト

～元気な中小企業で溢れるまちづくり～

- ・ 起業支援
- ・ 企業力強化支援
- ・ 異業種交流ネットワークの促進
- ・ IT（情報技術）化支援
- ・ 中小企業に役立つ講演会等の開催

3. 商工会議所基盤強化プロジェクト

～基盤強化と会員サービス向上～

- ・ 財政基盤強化
- ・ 組織再編の見直しと既存事業の再編・移管・プライオリティの検討
- ・ 企業情報発信と広聴・広報活動の充実
- ・ 地区制度強化推進

SWOT分析

内部環境

外部環境

機会 (Opportunity)

脅威 (Threat)

- ・観光資源（高尾山他）
- ・交通の要衝地・結接点
- ・圏央道整備
- ・二つの大学病院
- ・固有施設移転に伴う跡地利用可能性
- ・IT 関連企業の増加
- ・ものづくり産業集積化
- ・人口増加は平成 32 年までと予測
- ・高齢者人口の増加
- ・固有の地域性
- ・長い歴史と文化
- ・学園都市
- ・ハブ機能
- ・教育機関の多さと人財確保の優位性
- ・高い技術力を持つ企業集積
- ・八王子の知名度の高さ
- ・都心などより地価が安い

- ・産業構造の変化
- ・収益低下、設備投資減少
- ・若年層人口の減少
- ・大型店舗撤退
- ・中小企業減少
- ・補助金の減少
- ・他団体等との競合
- ・自然環境の破壊
- ・後継者不足
- ・他方都市への企業移転
- ・交通網整備によるストロー現象
- ・事業者に対する各機関のサービス
- ・地元地域への無関心感

強み (Strength)

- ・行政との連携
- ・北「コリアーダー」
- ・多業種の集積・中小企業の集積
- ・固有の事業（検定共済 etc）
- ・三多摩の歴史
- ・専門知識・情報・経験豊富
- ・地域の理解度が高い
- ・信用力
- ・全国規模のネットワーク
- ・21 大学等の存在
- ・事業者の特化した情報収集力
- ・小規模事業者への支援
- ・学生等やアクティブシニアの存在

■「強み」によって「機会」を最大限に取り組むべき事項

■「強み」によって「脅威」による悪影響を回避するために取り組むべき事項

- 各協議会設立・推進
 - ・「(仮称) JR 八王子駅北口周辺再開発協議会」設立・推進
 - ・「(仮称) 八王子観光協議会」設立・推進
 - ・「(仮称) 八王子総合交通体系検討協議会」設立
- まちづくりの推進
 - ・旭町・明神町再開発計画 など
- 観光立市計画推進
 - ・観光整備計画提案 など
- 都市文化伝承計画推進
 - ・都市文化伝承館計画の提案 など

- 起業支援
 - ・「本気の創業塾」開催など
- 企業力強化支援
 - ・「事業所訪問」による個別企業の経営課題の抽出と解決（経営指導員と「ビジネスお助け隊」等支援組織との積極的連携）など
- 異業種交流ネットワークの促進
 - ・ビジネス交流会（会員交流懇談会）の開催など
- IT 化支援
 - ・会員向け「IT 関連講習会」の開催

地域力向上・地域活性化

企業力向上支援

弱み (Weakness)

- ・退会者増加→会員の減少
- ・収入源不足
- ・魅力 or MTT不足
- ・各部会連携不足
- ・各部会事業と全体方針の連携不足
- ・廃業者の増加
- ・議員意識の問題
- ・職員意識の問題
- ・会議所の立地
- ・フットワークの悪さとスピードの遅さ
- ・情報提供の遅さ
- ・各事業の成果と評価が不透明
- ・事業のマンネリ化

■「弱み」によって「機会」を逃さないために取り組むべき事項

■「弱み」と「脅威」により最悪の結果となることを回避するために取り組むべき事項

- 会員拡大
 - ・会員増強の検討と実施 など
- 地区制度の強化
 - ・地区別懇談会の開催 など
- 講演会・講習会開催
 - ・講師選定、内容、スケジュール等の検討
- 企業情報発信
 - ・メーリングリストの整備と情報発信 など
- 広聴・広報の充実
 - ・活用しやすいHPの見直し・作成
- 地産・地消・地活の推進
 - ・地域情報誌「らぶはち」発行の継続 など

- 財政基盤強化
 - ・収益事業の検討と実施 など
- 中心市街地活性化推進計画
 - ・旭町・明神町再開発計画 など
- 組織再編の見直しと既存事業の再編・移管
 - ・事業内容に即した組織再編の検討・実施など
- 安全・安心のまちづくり
 - ・地盤図作成推進及び地盤状況公開推進への協力 など
- 環境問題意識の醸成
 - ・自然環境を大切にしたいまちづくりの推進支援 など

地域力向上・基盤強化

地域力向上・基盤強化

中心市街地活性化推進計画

地域力向上・地域活性化プロジェクト

概要

JR八王子駅北口から京王八王子駅周辺のまちづくりを推進する。

特に JR 八王子駅前広場の使い勝手の悪さを是正し、56万都市の玄関口としてふさわしい姿と機能的に使いやすい駅前広場等を提言する。

また、旭町、明神町地区の再開発計画の実現へ向けて、八王子商工会議所が提案してきた計画の実現のために、東京都並びに八王子市と連携し、積極的に行動する。

「まちづくり八王子」との連携を深め、より良い中心市街地の活性化に寄与する。

事業プログラム計画

	2012	2013	2014	2015	2016
旭町・明神町再開発計画					→
JR 八王子駅北口駅前広場再開発計画					→
「(仮称)JR八王子駅北口周辺再開発協議会」 設立・推進	→				
「まちづくり八王子」との連携					→

都市文化伝承計画推進

地域力向上・地域活性化プロジェクト

概要

八王子のもつ都市文化を後世に継承するためのエリアを設定し、関係施設の計画を提案する。

市民が守り、培ってきた「山車」の適切な保存管理とともに、観賞可能な展示施設並びに、八王子の発展を永年支えてきた「織物」の歴史や製造工程、伝統技術などの保存、展示、体験可能な施設。あわせて八王子の「都市文化」や「食文化」、「まちの歴史」を表現する空間づくりを推進する。

事業プログラム計画

	2012	2013	2014	2015	2016
都市文化伝承館計画の提案	⇒				
建築競技設計「都市文化伝承館」提案		⇒			
特色ある「食文化」の集積エリア提案	⇒				

観光立市計画推進

地域力向上・地域活性化プロジェクト

概要

八王子市が「八王子まるごと観光」を事業計画に挙げてから相当な時間が経過している。高尾山がミシュラン三ツ星に指定されてから、外国人を含めた観光客は増えているが、ほとんどの観光客は市内へ回遊することがない現状を打破するために観光立市を目指し、八王子市の「光」と「個性」を活かし、磨き、持続する観光立市の計画を推進する。

事業プログラム計画

	2012	2013	2014	2015	2016
「(仮称)八王子観光協議会」設立・推進	→				
「光」と「個性」の探求と磨き上げ	→	→	→		
観光整備計画提案		→	→	→	

「地産・地消・地活」の具体的推進

地域力向上・地域活性化プロジェクト

概 要

市民の豊かで安全・安心な暮らしを実現し、経済的な成長を遂げていくためには、八王子の産業の多様な強み、特色や潜在力、観光資源などをより積極的に活用し、活力ある地域経済を維持、向上させていくことが重要となる。

地域の中で需要を創出し、地域のなかで供給する「地産・地消・地活」をより具体的に推進する。

事業プログラム計画

	2012	2013	2014	2015	2016
「地産・地消・地活」の事業推進とPR	▶				

環境問題意識の醸成

地域力向上・地域活性化プロジェクト

概要

21世紀の担い手となる次世代の子供たちのために、持続可能な社会の姿を示すことが必要である。そのために自然環境を大切にしまちづくりの推進を支援する。
自然と豊かな暮らしが調和し、安全で快適な環境を創出するために、市民の環境への意識を高めるとともに、企業も健全な成長を図ると共に、地球環境への責任を果たすべく、環境負荷の低い効率的な経済活動の推進を支援する。

事業プログラム計画

	2012	2013	2014	2015	2016
自然環境を大切にしまちづくりの推進支援					
環境負荷の低い効率的な経済活動の推進支援					
「ECO マナー9つの習慣!!」の推進					

概 要

3・11東日本大震災から一年を経過し、復興の遅れや首都圏直下型地震の大きな被害想定、立川断層の存在などで市民の安全・安心への期待が高まる中、八王子市内の地盤状況などの情報が不足している。行政と連携して早急に、現状の情報とその対策をいそがなければならない。また、様々な交通問題の解決に当たって、総合交通体系の策定が必要とされている。

事業プログラム計画

	2012	2013	2014	2015	2016
地盤図作成推進及び地盤状況公開推進への協力	→				
「(仮)総合交通体系検討委員会」設立・推進	→				
八王子市総合交通体系策定		→			

起業支援

企業力向上支援強化プロジェクト

概要

中小企業の減少が続く中、新たな起業家を積極的に支援し、中小企業者数を増やし、雇用の機会の増加を図る。起業しやすいインフラ整備をハード・ソフト面から行政等と連携して整備し、起業支援のプロを内部に育て、一体的にサポートする。特に、SOHOやコミュニティビジネス、大企業からのスピノフ型起業や農業等八王子の特性を活かした新産業創出を積極的、継続的にフォローする。

事業プログラム計画

	2012	2013	2014	2015	2016
「本気の創業塾」推進					
起業しやすい環境整備（家賃補助、インキュベーション設置補助）※1					
起業支援に特化した「インキュベーションマネジャー」の設置 ※2					

※1 行政との連携

※2 市委託事業（'11～'13）

企業力強化支援

企業力向上支援強化プロジェクト

概要

中小企業相談所の巡回・窓口相談の機能を高め、経営課題解決を図るために、経営指導員がサイバーシルクロード八王子の「ビジネスお助け隊」や地域金融機関等と連携し、個別企業の経営力向上、人材育成、販売促進等の支援を継続して行い、事業活動を幅広くサポートする。また、魅力ある個店づくりを促進させ、まちの活性化に寄与する。

事業プログラム計画

	2012	2013	2014	2015	2016
「事業所訪問」による個別企業の経営課題の抽出と解決（経営指導員と「ビジネスお助け隊」等支援組織との積極的連携）					
事業パートナーや受発注促進、販路開拓の可能性を広げる企業間の交流・連携支援					
人材育成研修（経営者、後継者、リーダー、従業員等）の実施					
人材獲得支援（就職マッチング、企業合同説明会等）の実施					

異業種交流ネットワークの促進

企業力向上支援強化プロジェクト

概要

変化の速い経営環境の中で、新分野進出や新製品・新サービス開発、販路開拓、受発注促進を図るためには、自社内の経営資源だけではなく、異業種、異分野のビジネスパートナー、企業との連携は不可欠である。企業相互の交流の場を設け、信頼関係構築のきっかけづくりを推進する。特に、八王子の産業活性化の可能性のある連携プロジェクトを協力をバックアップする。また、将来の八王子を担う意欲的な若手企業人や起業家のネットワークづくりを支援し、事業の継続性と相互のモチベーションアップを図る。

事業プログラム計画

	2012	2013	2014	2015	2016
ビジネス交流会（会員交流懇談会）の開催					
市域を超えた広域連携の推進					
企業連携プロジェクトの推進					
会議所HPや展示会等の開催による企業PR、販売促進					
若手企業人、起業家のネットワークづくり					

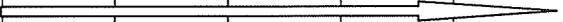
IT 化支援

企業力向上支援強化プロジェクト

概 要

ソーシャルメディア時代の中で、企業のデジタル化への対応が迫られてきている。Cloud computing、Facebook、Twitter、Linkedin、Flickr、Youtube、Ustream 等々の利用なくしては、この時代に後れをとることになる。有効利用法や使用法などの分かりやすい講習会等を開催し会員サービスの一環とする。

事業プログラム計画

	2012	2013	2014	2015	2016
会員向け「IT 関連講習会」の推進					

企業に役立つ講演・講習会開催

企業力向上支援強化プロジェクト

概 要

会議所が開催する講演会・講習会は時代に適し、企業経営に役立つものでなければならない。部会、委員会、地区等で開催する講演会並びに、経営改善普及事業として開催する講習会・セミナーは、講師の選定、開催計画、テーマ・内容等について十分に吟味し、実施する必要がある。

事業プログラム計画

	2012	2013	2014	2015	2016
講師選定、内容、スケジュール等の検討					
講師選定及び内容、スケジュール調整等の連絡会の開催（メール等で行う）					

財政基盤強化

基盤強化プロジェクト

概要

産業空洞化による中小企業の景況悪化に伴う会員の減少等により会費収入が減少している一方、事業の継続、拡大により支出は増加している中で、財政の健全化を至急図る必要がある。事業の見直し、移管等を含めた抜本的な計画が迫られている。会員増強を図るとともに、収益事業の立ち上げ等が急務である。

事業プログラム計画

	2012	2013	2014	2015	2016
財政・財務の見直し					
収益事業の検討と実施					

組織再編の見直しと既存事業の再編・移管

基盤強化プロジェクト

概要

会員サービス向上のために、限られた職員のパワーを十二分に発揮するためには、継続事業や組織のあり方を検討する必要がある。事業の効果と事務局機能の検証を行い、時代に適合した組織への再編と既存事業の見直し、移管が必要であり、事業のプライオリティをつけなければならない。職員からの積極的提案や行動ができる環境づくりを行うとともに、モチベーションアップにつながる人事評価等を検討する。また、部会、委員会等も時代に即して臨機応変に対応できるようにする必要がある。

事業プログラム計画

	2012	2013	2014	2015	2016
既存事業の見直し・移管	→				
事業内容に即した組織再編の検討・実施	→				
職員のスキルアップとモチベーションアップ につながる人事評価	→				
PDCA サイクルによる「(仮称) 行動計画推進プロジェクトチーム」の設置検討	→				

※PDCAマネジメントサイクルの1つ。PLAN (計画)、DO (実行)、CHECK (評価)、ACT (改善) のプロセス

企業情報発信と広聴・広報活動の充実

基盤強化プロジェクト

概 要

会員へのサービスとして、販路拡大や新規顧客獲得に役立つよう、広報紙、ちらし、パンフレットなどの紙媒体や会議所 HP やメール、メルマガ等の IT を活用し、国・地方自治体や企業等のお役立ち情報を積極的に発信する。また、商工会議所への要望を頂くためや活動を知って頂くために、巡回業務や交流会を行う。さらに、外部機関や他市のイベント等にも積極的に参加し PR を行う。

事業プログラム計画

	2012	2013	2014	2015	2016
活用しやすい HP の見直し・作成	→				
メーリングリストの整備と情報発信		→			
効果的な販促用 PR グッズの検討と開発	→				
会議所内情報共有化の仕組みづくり	→				

地区制度強化推進

基盤強化プロジェクト

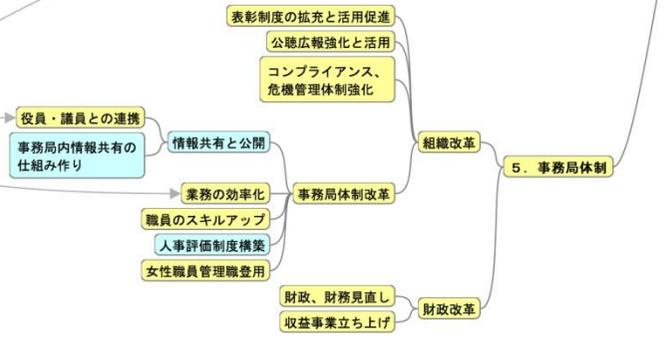
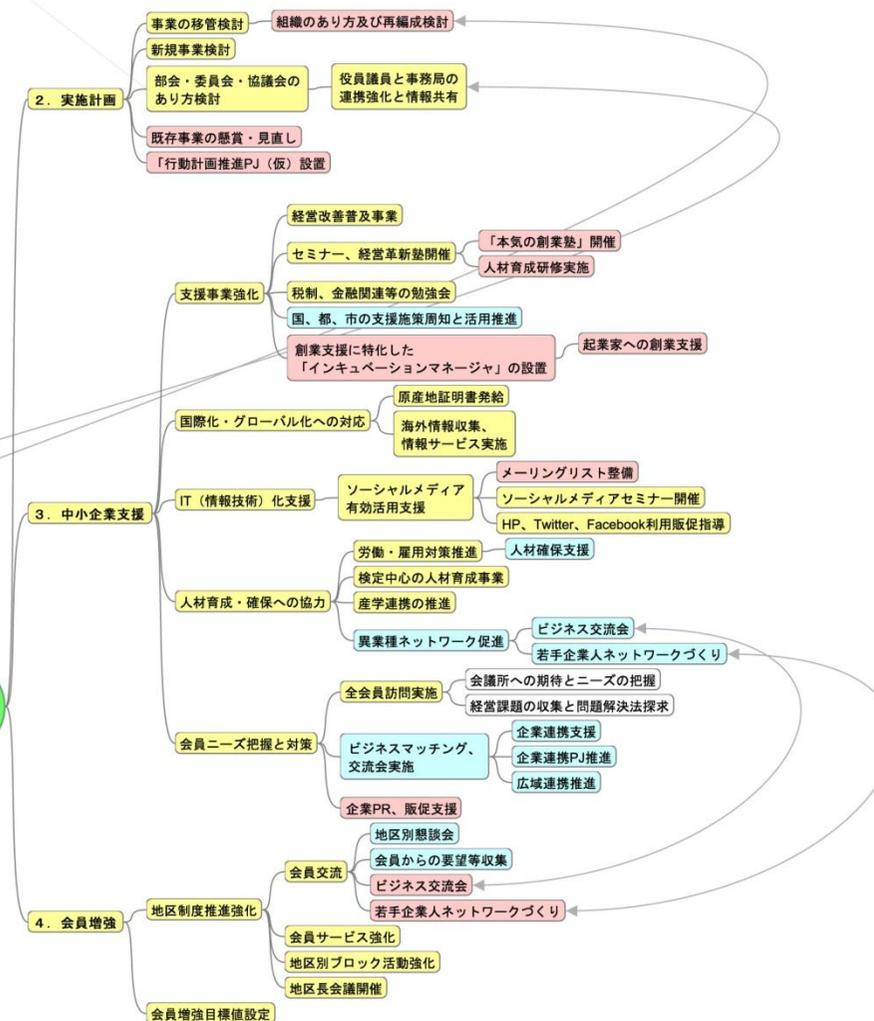
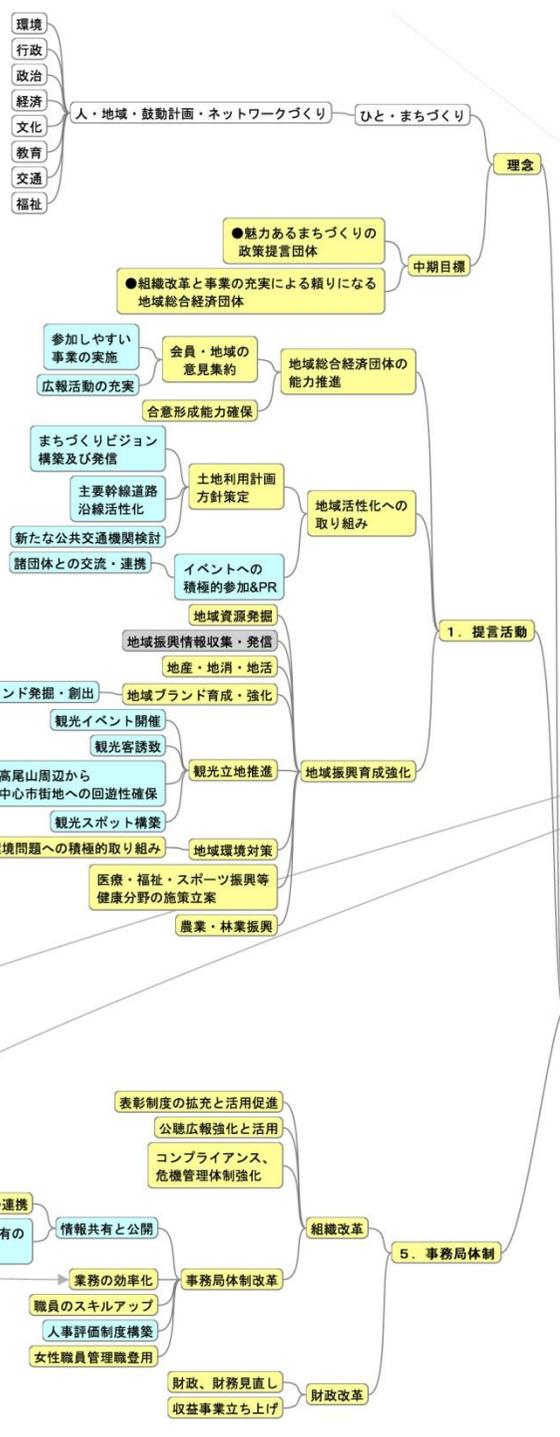
概要

地域に根ざした商工会議所の実現のために構築した「地区割り体制」をさらに強力に推進する。会員増強や組織を強化し、会員と会議所の連携強化を図る。経営指導員、振興委員の指導体制、地区別懇談会の開催等、事業活動の基本等を各ブロックとする。職員による会員訪問事業を行う。

事業プログラム計画

	2012	2013	2014	2015	2016
地区別懇談会の開催					
会員増強の検討と実施					
会員ニーズの把握と対策、連携強化のため、 会員企業訪問の毎年実施					
経営指導員・振興委員による指導体制確立					

八王子商工会議所
中期行動計画 '120101



・中期行動計画討議資料
(政策委+若手議員+若手職員)

あしがき

この八王子商工会議所「中期行動計画 2012-2016」は、八王子商工会議所政策委員会が会頭の諮問により検討し、まとめたものです。昨年の6月に「骨子案」が常議員会で承認され、それを基に、若手議員、若手職員のグループがそれぞれ検討し提案書が出されました。

「地域総合経済団体」として、商工会議所の存在意義と果たすべき役割を見据え、相応しい組織・財政の運営基盤を確立することが問われています。政策委員会では、当所の存在価値を高める活動の展開が地域の振興や各企業の発展に寄与するとの視点から、それぞれの提案書を精査し、各委員の積極的な意見を集約し、「中期行動計画 2012-2016」としてまとめました。

最後に、ご多忙の中、精力的に活発な議論を頂いた各委員の皆様に、心からの感謝を申し上げ、報告の結びと致します。

八王子商工会議所政策委員会
委員長 宮瀬睦夫